

天

の


本

神話

国譲り編

はじめに

この漫画は  
日本神話の国譲りを元にし  
オリジナルの解釈を織り交ぜた  
「争い」をテーマとしたストーリーになっております。

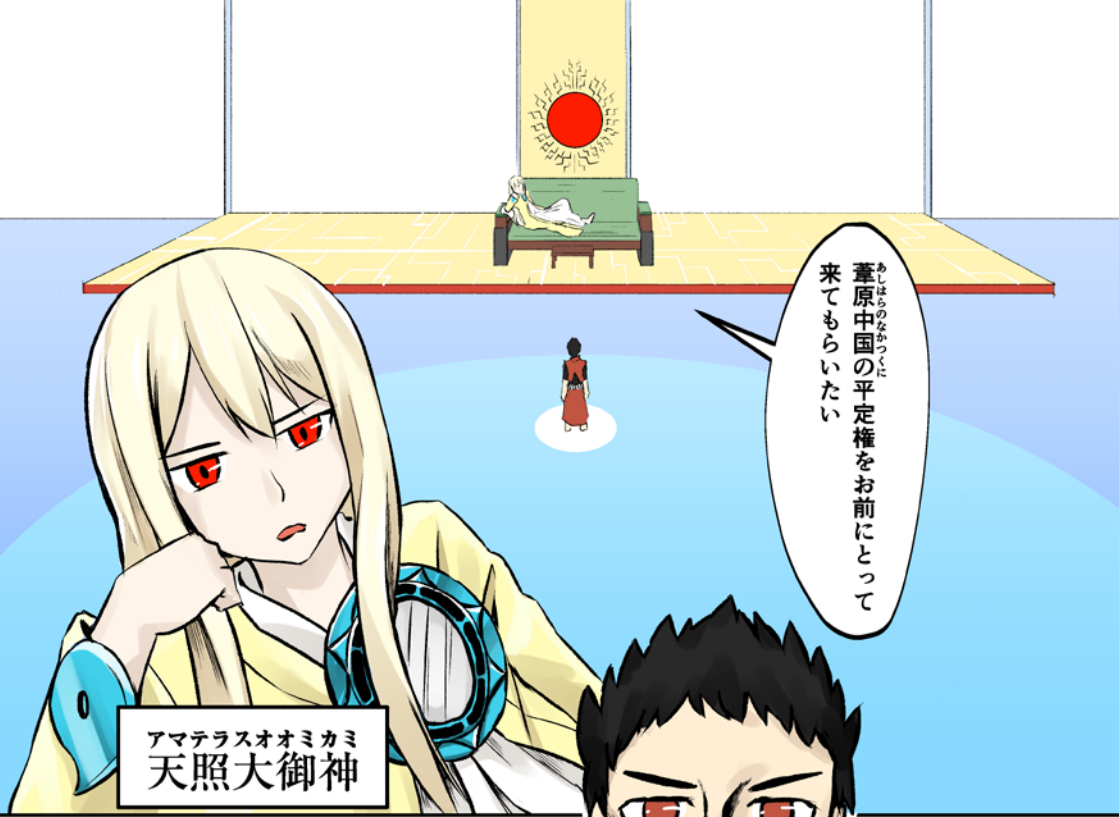


天の神(天津神)  
あまつかみ  
地上の神(国津神)  
くにつかみ  
姿を見せていた時代

国津神「大国主神」が  
おおくにぬしのかみ  
国造りに成功した12年後

天津神の住む  
たかまがはら  
「高天原」から物語は始まる





わしはのなかつくに  
葦原中国の平定権をお前にとって  
来てもらいたい

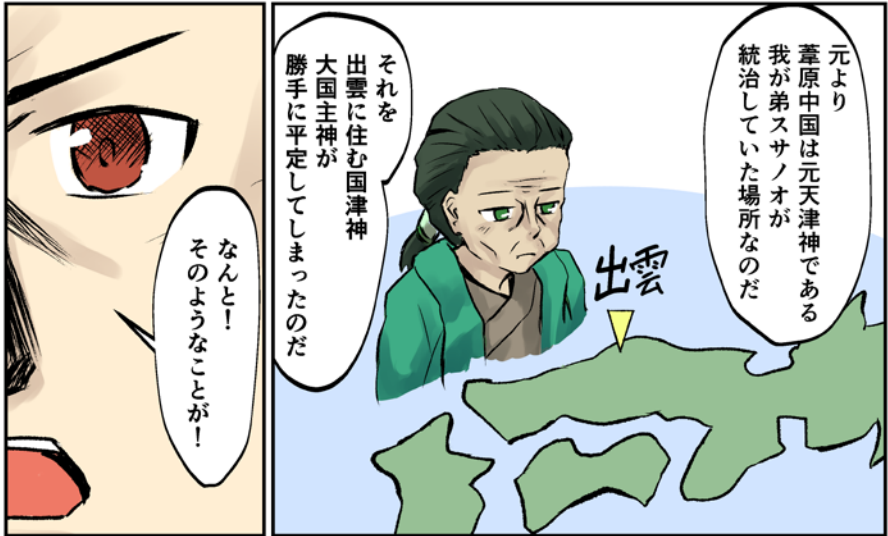
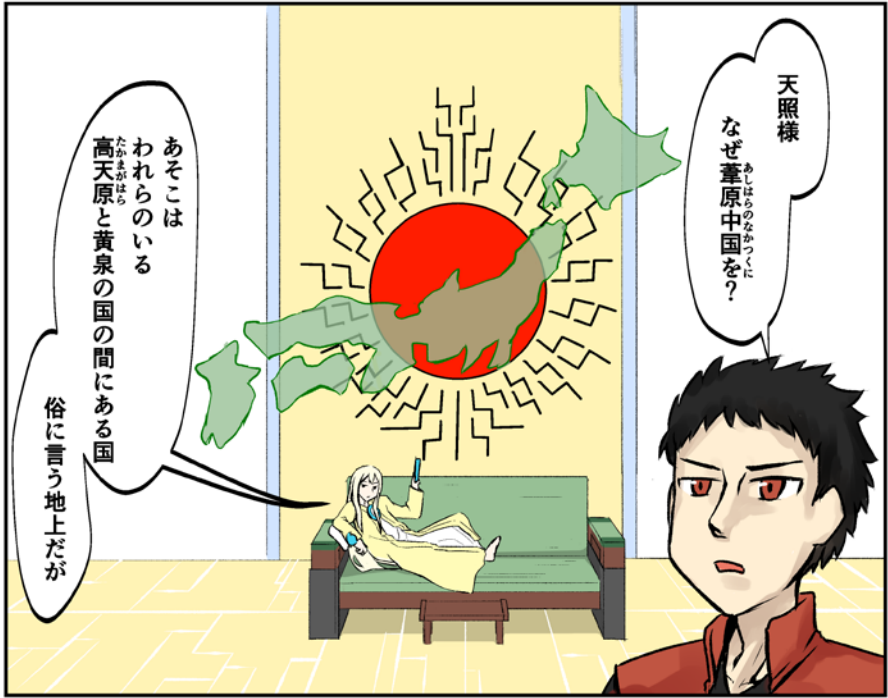
アマテラスオオミカミ  
天照大御神

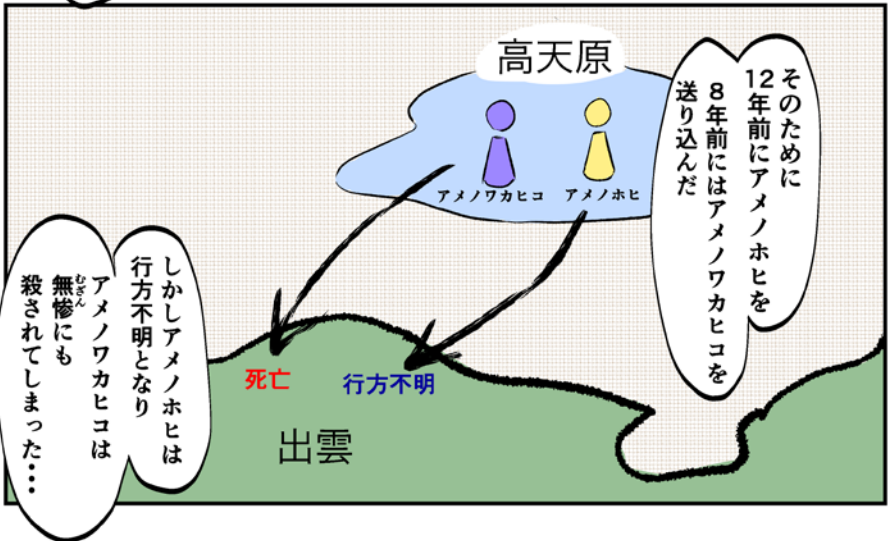
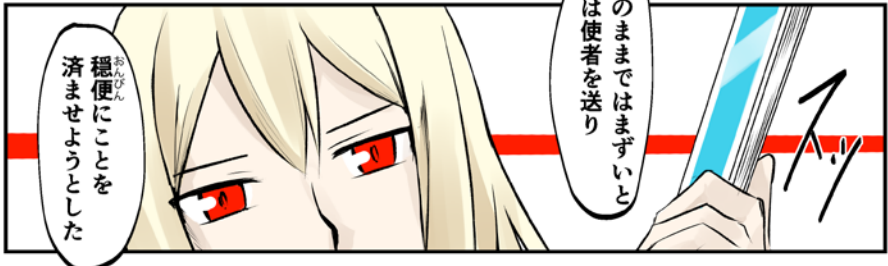
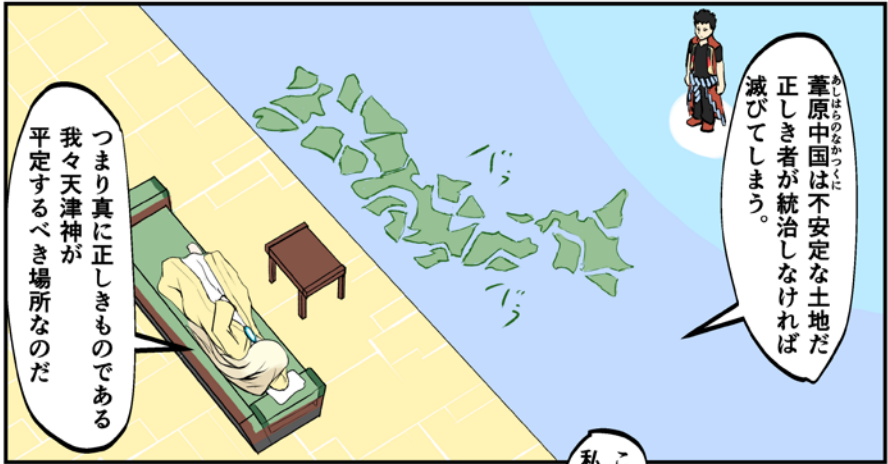
タケミカツチ  
建御雷

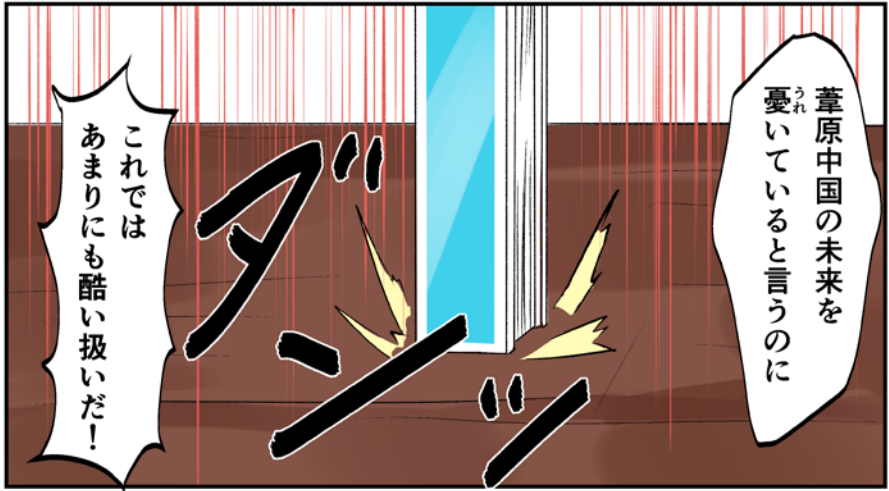


タケミカツチノオノカミ  
建御雷之男神



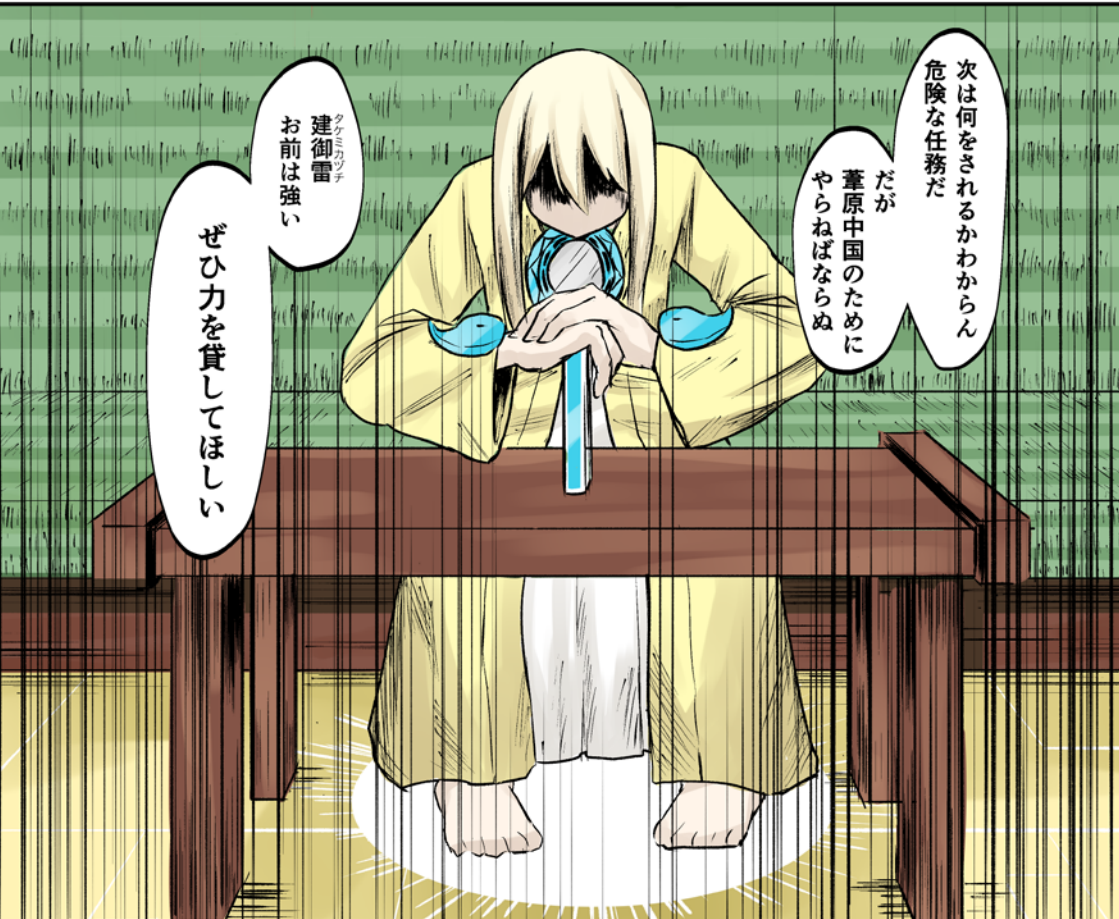






葦原中国の未来を  
憂<sup>うれ</sup>いでいると言うのに

これでは  
あまりにも酷い扱いだ!



次は何をされるかわからん  
危険な任務だ

だが  
葦原中国のために  
やらねばならぬ

建御雷<sup>タケミカヅチ</sup>  
お前は強い

ぜひ力を貸してほしい



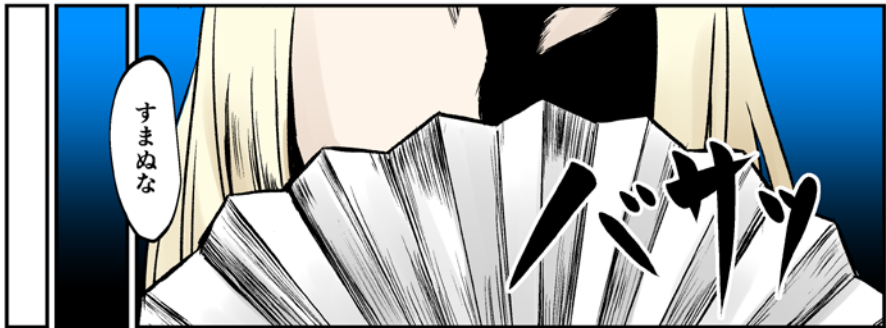


そのようなことが...

ギンツ

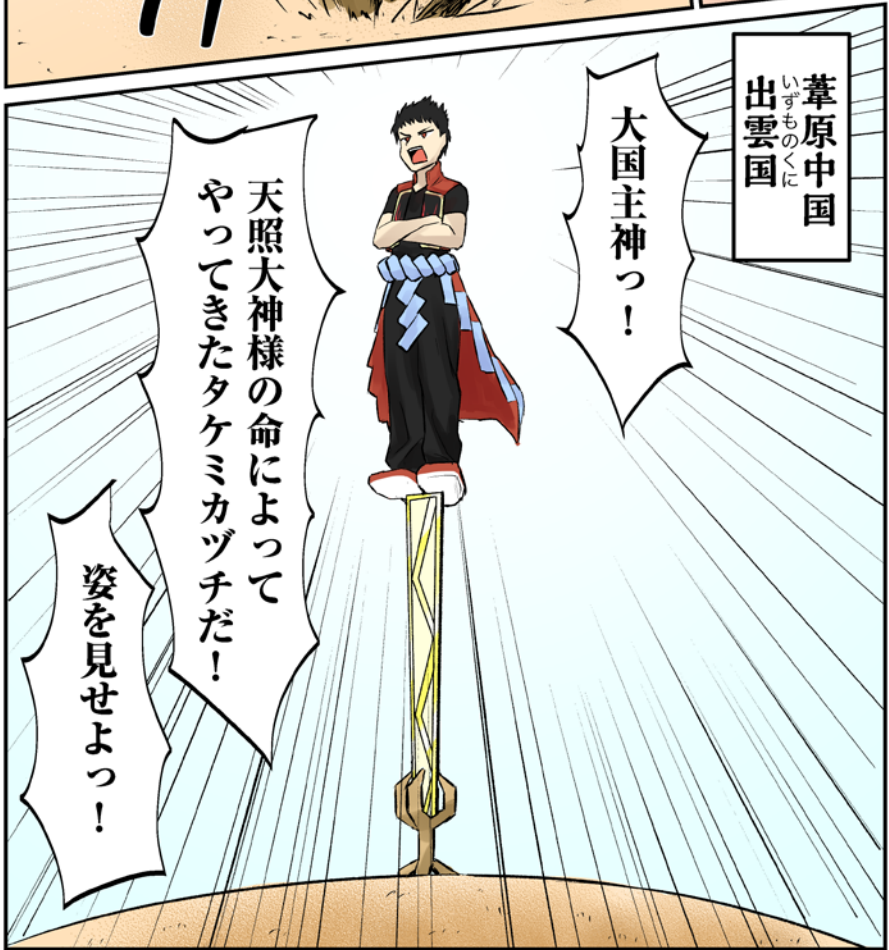
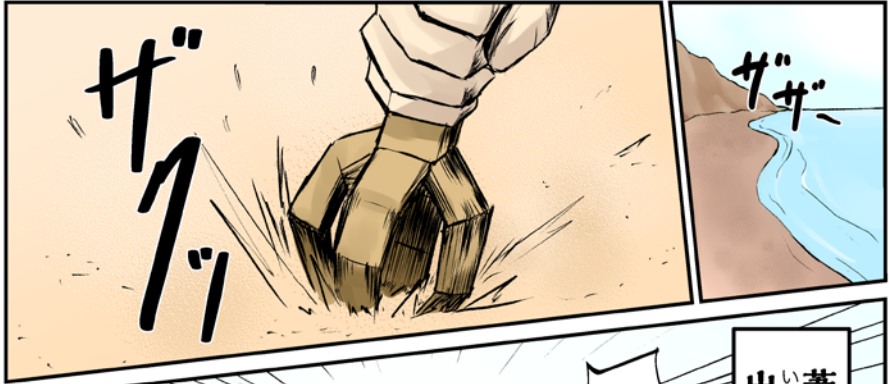
承知しました!  
その大役謹つつしんでお受けいたします!!

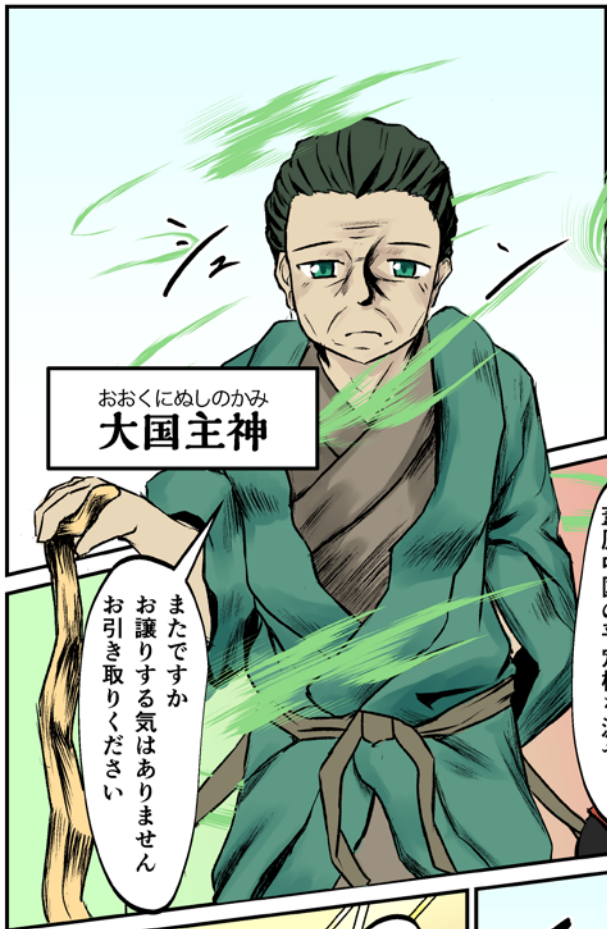
ド



すまぬな

バガ



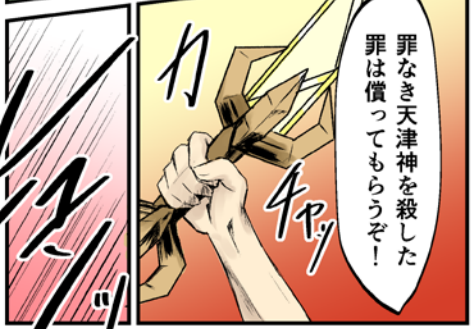


おおくにぬしのかみ  
**大国主神**

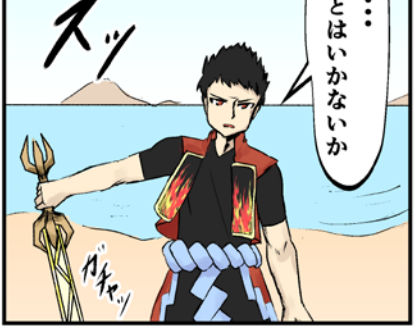
またですか  
お譲りする気はありません  
お引き取りください



貴様が大国主か  
我らの領地を取り返しにきた  
葦原中国の平定権を渡せ

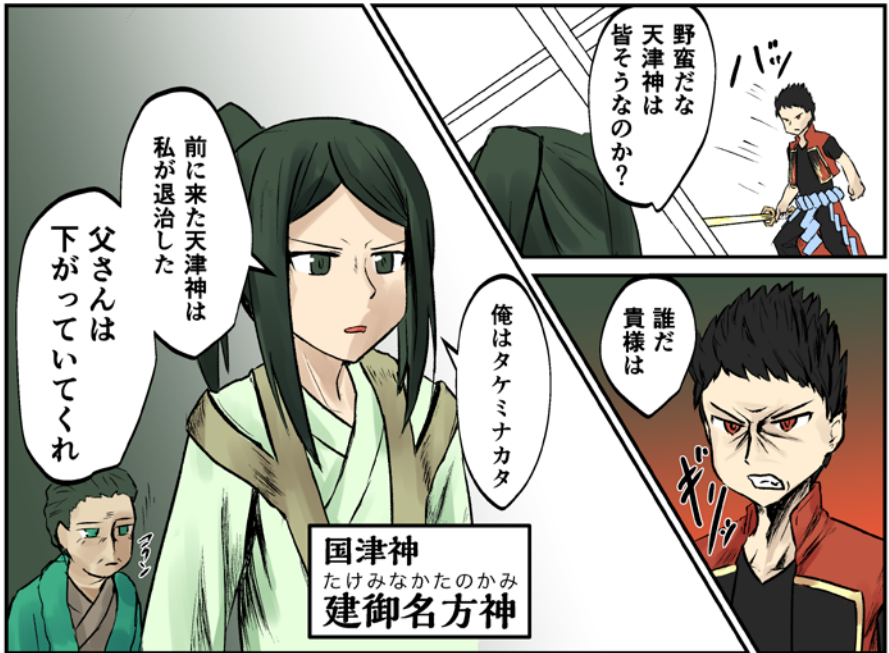
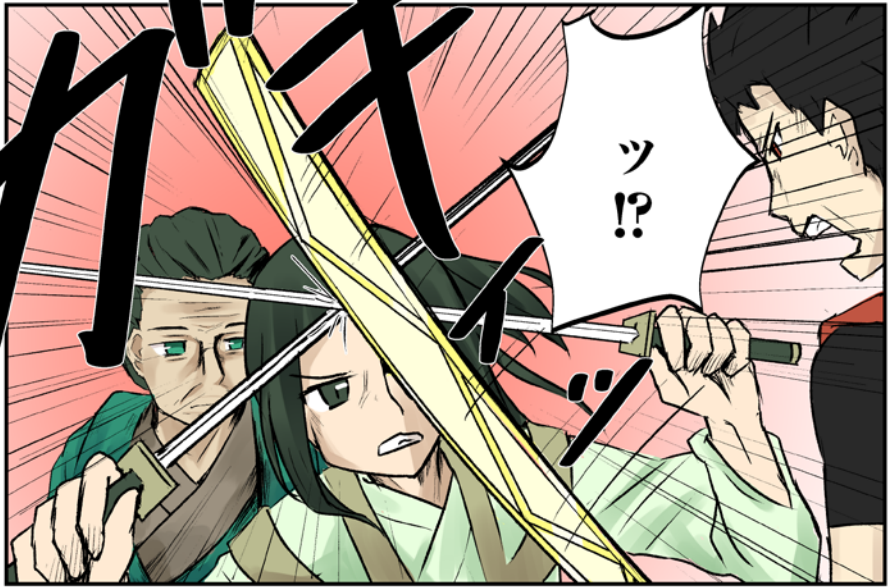


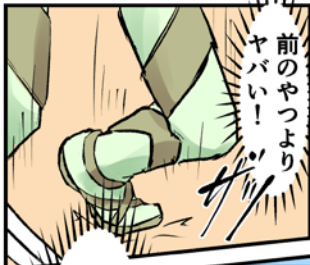
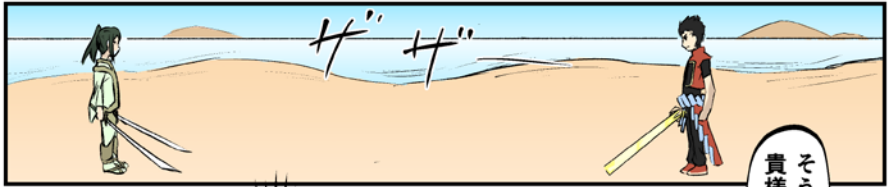
罪なき天津神を殺した  
罪は償ってもらおうぞ!

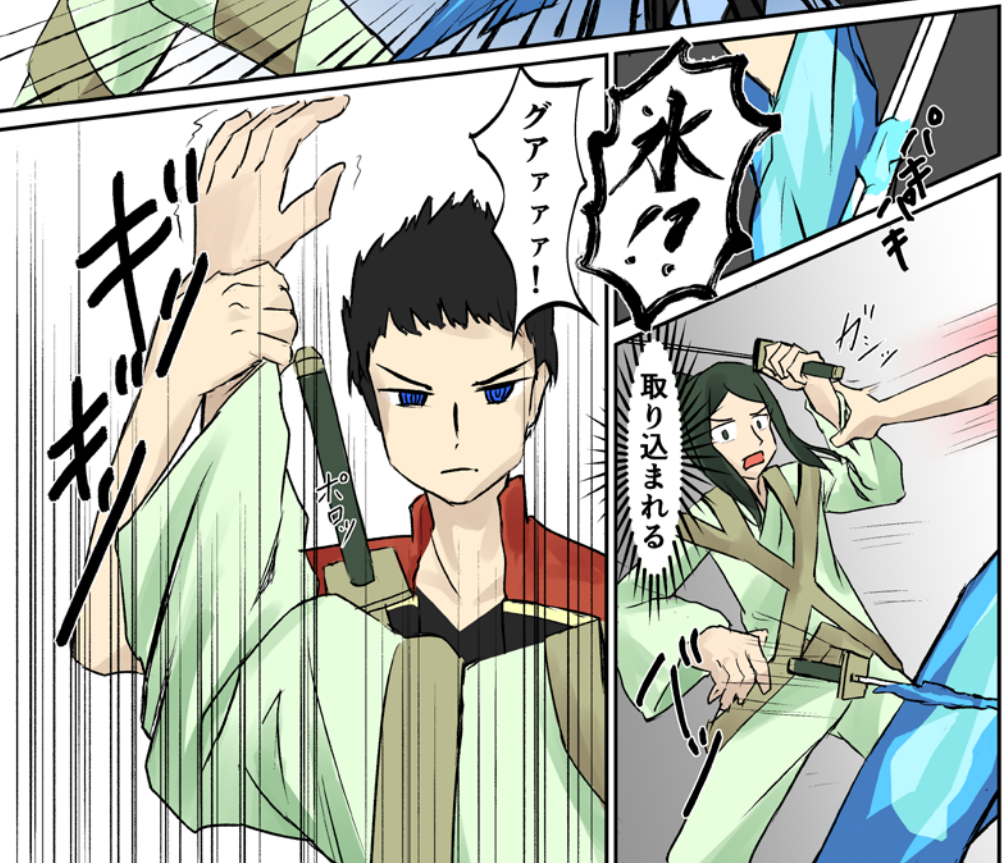


やはり…  
穩便にとはいかないか

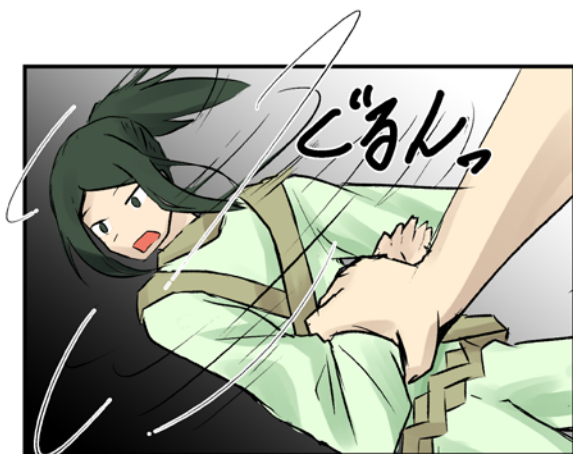










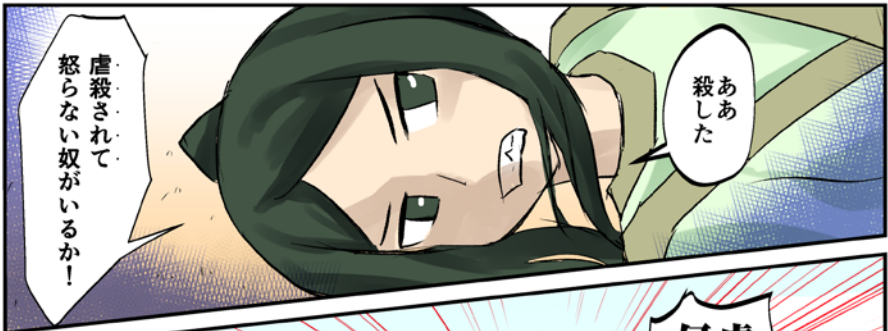




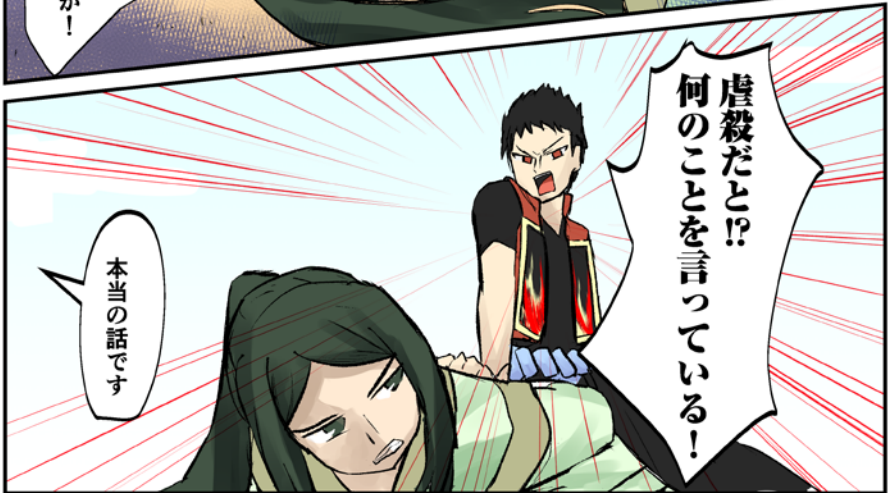
しかし  
本当に  
殺したのか？



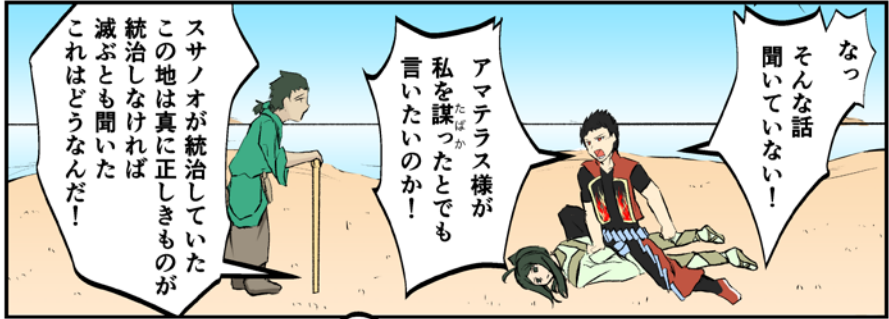
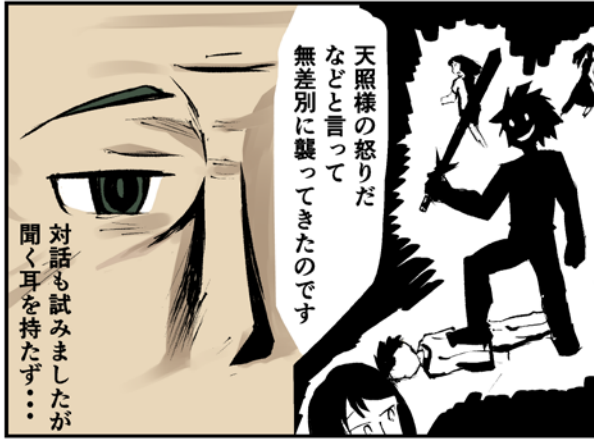
スグッ



虐殺されて  
怒らない奴がいるか！

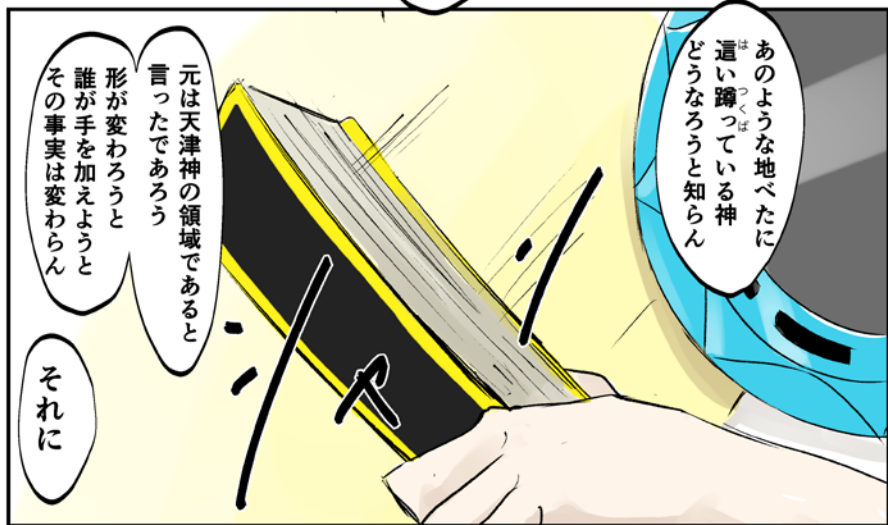


本当の話です





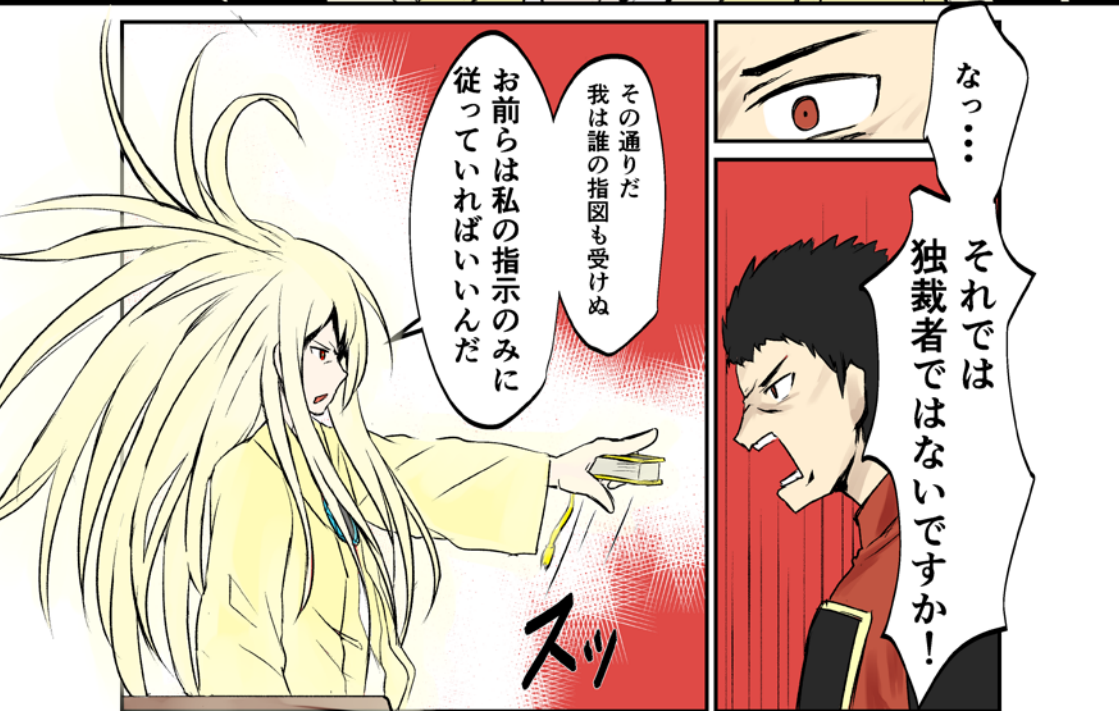






最も美しい神である  
我が治めるのが通りというもの

あのような美しい国は



お前らは私の指示のみに  
従っていればいいんだ

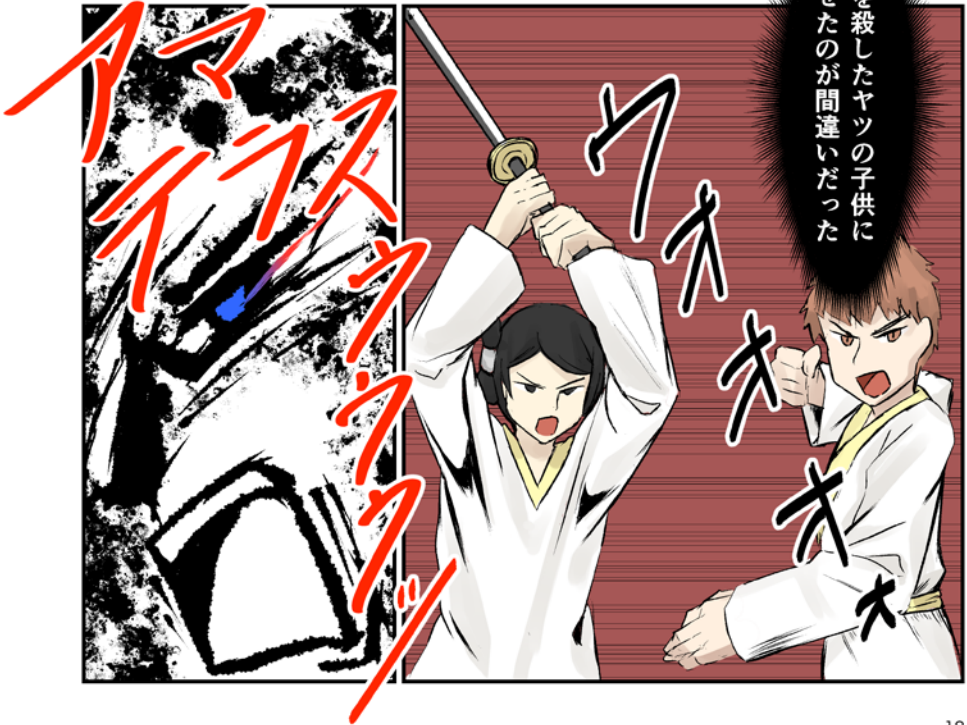
その通りだ  
我は誰の指図も受けぬ

スツ

なっ…

それでは  
独裁者ではないですか！









その後  
天照大神は多勢を持って  
葦原中国へ侵略を始めた

斯くして  
天津神対国津神の  
全面戦争が始まって  
しまったのだった



## あとがき

ここまでご覧いただきありがとうございます。  
本作は原作の日本神話に現代風なアレンジを加えたもので、様々な補足説明をさせていただこうと思います。

### 各神様について

天照大神は太陽を司る神で、天津神の代表として有名なもので、ゲームや創作話でもよく登場し知らない人はいないレベルの神様かと思っています。

ですが、このような国譲りでの強引な面があったという話もあり、完璧超神というわけではなかったのかもしれない。

タケミカヅチは、原作では実はそのまま平定権を手に入れてしまいません。

実際、非常に腕っぷしが強いということで、剣の神、雷神といった異名がついており、こちらも非常に有名な神様です。

ですが、主に出てくるお話がこの国譲りでの活躍ですので、天照大神にただ従っただけという感覚が強く、天津神としては正しい行動だとは思いますが、「もう少し考える人であってほしいな」という僕の希望から、今回は正義漢として活躍してもらいました。

(因みに腕が氷の刃になるといのは原作通りです。)

大國主神は、知名度は高いとは言いがたいですが、本人よりも物語や建物の方が有名かと思っています。

まず、今回取り上げた国譲りの話の前に「国造り」という大きなことを行っており、「国造り」では、地を均したり病に對しての対処法を行うなど国を作るため尽くしました。また、「因幡の白兔」で兔を助けたのもこの神様で、非常に優しい神様であるといった印象があります。そのほかにも非常に有名な「出雲大社」の主祭神にもなっているので、実はすごい神様ということがわかれると思います。

### 本作の補足

天照大神が葦原中国を平定しようとする理由に関してですが、様々な説があります。

両親であるイザナギ、イザナミが作った地だからといった話や、今回描いたように美しく欲しくなったからという説もあるようです。

作中で、天照大神がタケミカヅチを「母を殺した者の子供」と言っていますが、

母を「イザナミ」、殺した者を火の神である「カグツチ」として話しています。

「カグツチ」は「イザナミ」が最後に産んだ神です。

ですが、この産む際に大やけどを負い「イザナミ」は死んでしまっています。

それに怒った夫「イザナギ」は「カグツチ」を切り殺してしまい、その際に飛び散った血から生まれた神の1柱がタケミカヅチですのでこのようなセリフを入れました。

